

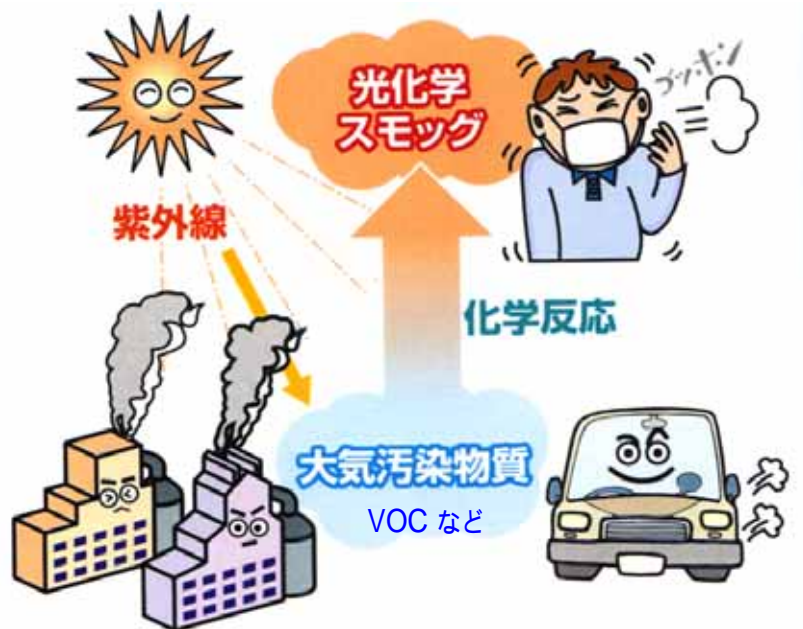
# VOC削減対策の自主的取組について

## VOCとは？

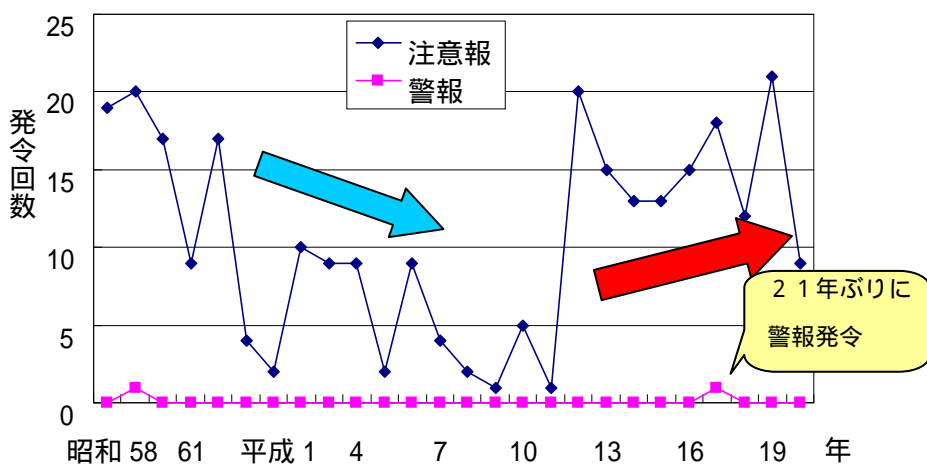
- ・ 揮発性有機化学物質 Volatile Organic Compounds の略です。
- ・ 大気中で気体となる有機化合物の総称です。
- ・ 代表的な物質は、トルエン、キシレン、酢酸エチルなど。主なもので約200種類あります。
- ・ 固定発生源からの排出量が約9割を占めています。

## VOCは光化学スモッグを起こす原因物質です

光化学スモッグは、大気中のVOCと窒素酸化物の混合系が、紫外線照射により化学反応を起こし発生します。光化学スモッグが発生すると、目がチカチカしたり、ノドが痛んだり、頭痛を引き起こすなど人体などに悪い影響を与えます。過去、昭和40年代にも光化学スモッグが問題となりましたが、近年再び光化学スモッグ注意報が増加傾向にあります。特に埼玉県は、注意報発令回数が、平成18年度は全国3位、19年度で1位、20年度で2位と全国でも常に上位にあり、深刻な状況です。光化学スモッグの発生を減らすには、原因物質であるVOCの排出を抑制する必要があります。

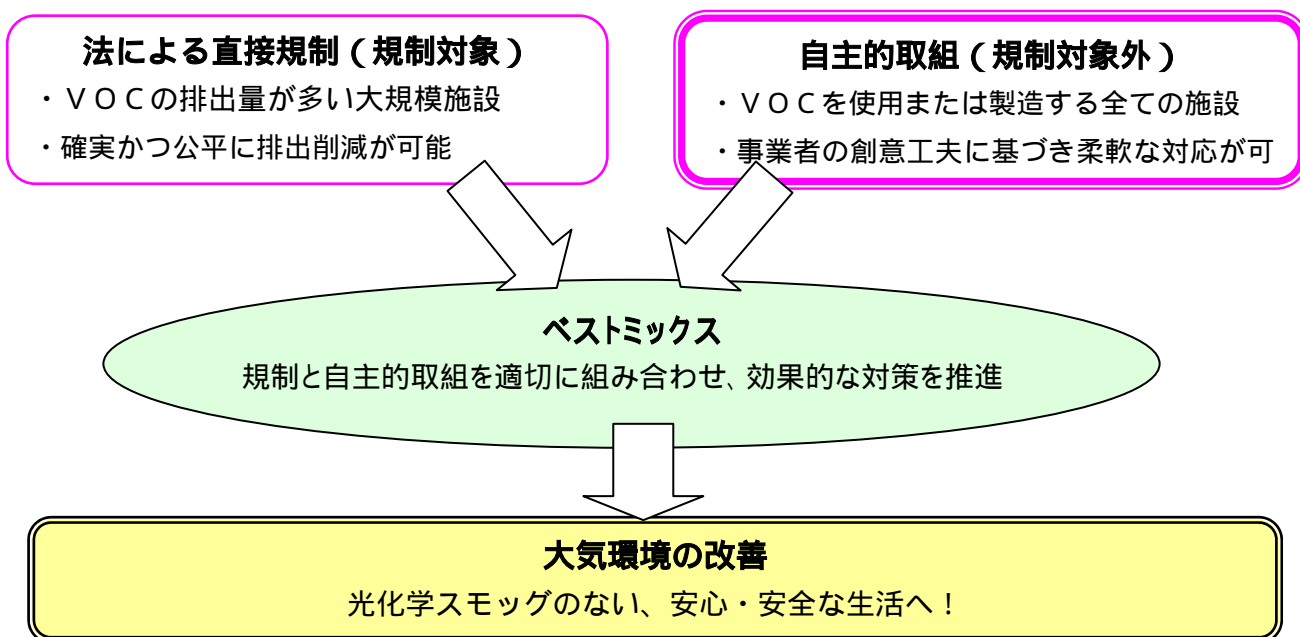


## さいたま市における光化学スモッグ注意報・警報発令状況



## VOC削減の対策と取組

大気汚染防止法の改正により、平成18年4月からVOC排出抑制対策が開始されました。このVOC排出抑制対策は、法による「直接規制」と事業者の創意工夫による「自主的取組」の組み合わせ（ベストミックス）により、平成22年度までに、工場等からのVOC排出量を平成12年度と比べ、3割程度削減することを目標にしています。しかし、法規制によって削減できる排出量は目標の3割削減のうち、1割程度と見込まれています。そのため「自主的取組」によるVOC削減がとても重要となっています。



### 自主的取組の例

自主的取組の方法は、事業場によって様々ですが、例として以下のものがあります。

- ・ 低VOCの材料への切替
- ・ 溶剤の回収再利用
- ・ 塗料缶や廃ウェス容器の蓋閉め徹底
- ・ 使用量の削減による揮発防止
- ・ 工程の改善・改良
- ・ 処理施設の設置

### 埼玉県VOC対策サポート事業・融資制度の紹介

埼玉県VOC対策サポート事業は、中小企業が実施するVOC排出削減対策に向けた自主的な取組を支援するため、VOC対策に係る技術的支援を行うことを目的に「VOC対策サポーター」を派遣する制度です。サポーターは事業所内のVOCの測定や、改善に向けた助言を行います。また、環境問題に取り組む中小企業向けに「環境みらい資金」などの融資制度を設けております。詳しくは下記までご連絡ください。

#### 問い合わせ先

さいたま市環境局 環境共生部 環境対策課 大気騒音係

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

電話：048-829-1330 FAX：048-829-1991

E-mail：kankyo-taisaku@city.saitama.lg.jp

